

大学名

大阪教育大学(附属図書館)

第60号テーマ
「大学図書館」

表題

ネーミングライツ施設を拠点に『デジタル教科書』活用を推進する人材を育成

取材対応者(予定)

特色ある取組



数学教育部門
上出吉則特任教授

大阪教育大学では、附属図書館内にあるラーニング・コモンズ「東京書籍Edu Studio(エデュスタジオ)」において、「デジタル教科書」を活用する能力を育成するための様々な取組を実施してきた。「東京書籍Edu Studio」内に常設されているデジタル教科書体験コーナーで、使用方法や活用法を体験する「デジタル教科書ミニ講座」を実施した。続いて、学生が学生と共に学ぶ“学生相互学修”の形式で、学校現場での活用を想定した『デジタル教科書体験会』を実施した。

これらの取組は、教員養成課程数学教育部門の上出吉則特任教授が担当する数学教育専攻のゼミ生(上出研究室)が主体となり実施しているもので、同教員からのデジタル教科書活用法の指導を受けた学生たちが講師を担当している。

デジタル教科書体験会では、デジタル教科書の基本的な操作の説明や、PCでデジタル教科書のオリジナルのページを作成できるツールなどを紹介、参加者は1人1台端末を使用し、実際にページを作成するなどして、デジタル教科書の理解を深めた。

学生のコメント



上出研究室の学生たち

どのようにすれば学生にわかりやすく伝わるか、どのような活用方法を伝えれば教育現場に役立つのかをゼミの仲間たちと模索し、実践してきました。その際に、デジタル教科書を用いた新しい指導方法等を見つけたときの達成感に勝るものはなく、苦勞よりもむしろ喜びを感じていました。デジタル教科書は、今では教職に対しての『安心材料』になっています。これらの取組は、今後も研究室の後輩に引き継いでいきます。

上記取組による成果・評価 など

大阪教育大学では、東京書籍株式会社と2020年8月にネーミングライツ協定を締結し、附属図書館ラーニング・コモンズを「東京書籍 Edu Studio」と名付け、活用を開始した。それを契機に、同施設内にGIGAスクール構想の実現に必要なデジタル教科書体験コーナー、大型提示装置等のICT基盤を整備した。

上記の取組は、ほとんどの学生が、小・中・高等学校時代にデジタル教科書による授業を受けたことがないにも関わらず、教員として現場に出るとデジタル教科書を活用し教える必要がある、というジレンマを解決することができる取組と言える。

在学中にデジタル教科書を含むICT活用能力を身につけた卒業生が、今後の教育現場で子どもたちの指導にあたることは、日本の教育高度化に繋がり、社会に貢献できる取組となる。

【デジタル教科書体験会を行う様子】



今後の取組

学生のデジタル教科書の活用能力を培うこと、及び学内のデジタル教科書に関する取組を推進するため、デジタル教科書を教育現場で使うことを想定した研究レポートを学生から募集する「デジタル教科書コンテスト」(仮称)を行うことを予定している。

参考URL

- ・附属図書館HP <https://www.lib.osaka-kyoiku.ac.jp/>
- ・広報ページ

【トピックス】ネーミングライツ施設開設

<https://osaka-kyoiku.ac.jp/university/kouhou/topics/oldtopicsbacknumber2020.html?item=234&disp=4731>

【トピックス】デジタル教科書体験コーナー開設

<https://osaka-kyoiku.ac.jp/university/kouhou/topics/oldtopicsbacknumber2020.html?item=226&disp=4731>

【トピックス】デジタル教科書説明会

<https://osaka-kyoiku.ac.jp/university/kouhou/topics/oldtopicsbacknumber2020.html?item=207&disp=4731>